

研修分科会

テーマ【大学図書館サービスの新たな展開】の概要

90年代以降、司書資格の無効化が急速に進み、外部委託の増加と専任職員の減少により職業的専門性が崩壊に向いました。図書館員という職業への社会的評価はなぜ向上しなかったのか。その原因と現時点での対策を図書館員のイメージの視点から考えなおしていただく必要があります。専門職としての社会的評価の失墜状況に対して、広報活動の立て直しが急務です。

司書の専門職としての社会的地位の向上を実現するには、利用者を変え、経営者・管理者を変え、図書館員を変えなければなりません。専門性の研鑽のためには、自分自身を変え、職場のカルチャーを変え、研究会・研究会を変え、司書課程を変える必要があります。

次世代を担う人材を養成するこの研修分科会では、専門的知識技能を身につけるワークショップ型の試みを行います。今回は、PRの企画の基本的な考え方についての講演と、プランニング、発表、相互評価を体験するワークショップにより、図書館のコミュニケーション実務に必要な感覚の増進を図る機会としたいと考えます。

懇親会

ゲストとの懇談、参加者同士の交流、主催者への要望、反省、討論など、コミュニケーションの場として懇親会を行います。17時30分～ @大手町近辺のお店
参加/不参加の連絡を7/3（金）までに事務局にお返事ください。



会場：埼玉大学
東京ステーションカレッジ
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12
JRサピアタワー9階



2009年度 第2回
7月10日（金）
テーマ：大学図書館サービスの
新たな展開

第2回 大学図書館サービスの新たな展開

研修分科会 第2回 2009年7月10日(金) 13:00-17:00

事前の課題 その1 締切：6/26(金)

講演者仁上幸治氏の論文をひとつ読み、以下のレポートを提出。

- 1) 読んだ論文
- 2) 感想をひとことで(20字程度)
- 3) 選んだ理由
- 4) 自分の館で役立つと思った点
- 5) もっと詳しく知りたいと思った点

ホームページ：<http://wwwc.dcn.s.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/>

W

事前の課題 その2 締切：7/3(金)

PR活動の現状報告

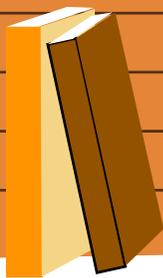
- 1) 実施している活動名
- 2) 現状
- 3) 問題点と課題
- 4) 改善プラン

★課題 その1、その2とも、
所定の用紙に記入



time table

1:00-1:10	第2回テーマの主旨/事務連絡
1:10-2:30	仁上幸治氏講演
2:30-2:40	休憩
2:40-3:20	渡邊崇氏講演
3:20-4:00	グループ討論+発表スライド作成
4:00-4:50	発表とまとめ
4:50-5:00	アンケート記入



【1】講演

「次世代図書館員のための自己アピール講座－存在感訴求力をどう身に着けるか－」

仁上幸治氏(にかみ・こうじ 元早稲田大学図書館)

[概要]

司書職の専門性が崩壊の危機に瀕する状況にあって、専門性の社会的認知を回復し向上させるためにはパブリック・リレーションズとマーケティングの視点が必要不可欠となっている。図書館員は学術情報リテラシー教育に参画する機会を積極的に増やし、大学コミュニティの教育研究に不可欠な専門的役割を評価されるよう努力するべきである。図書館員の社会的イメージの問題点を整理し、新しい学術的専門職像の訴求をめざす広報イメージ戦略の基本的な考え方と取り組みアイデアを提示する。



【2】ワークショップ

「図書館の存在価値を訴求するPR企画演習－双方向コミュニケーションをどう演出するか－」

渡邊 崇氏(わたなべ・たかし 広告制作ディレクター・コピーライター)

[概要]

「大学図書館のPR」とは何をどうすればよいか。世界中の人々がこぞって訪れる図書館や博物館のブランド戦略の成功事例が参考になる(大英図書館、ニューヨークメトロポリタンミュージアムなど)。PRとは「パブリック・リレーションズ」であり、一方的に情報を告知するものとは異なる。図書館側と利用者側の間に双方向のコミュニケーションが成立するようなサービス展開はどうすれば可能か。ワークショップ形式でプランニング、発表、相互評価を体験することにより、図書館のコミュニケーション実務に必要な感覚を身に着けることを目指す。

